

■博士学位論文公開発表会■

ポリフェノールによる 腸管バリア調節作用に関する研究

Studies on intestinal barrier regulation by dietary polyphenols

腸管内は「内なる外」と呼ばれる「体外」であり、食事抗原や腸内細菌などの異物が大量に存在する。よって腸管上皮は、消化・吸収の役割を担うのみならず、外来異物の侵入を制限するバリア機能の観点からも重要である。本研究では、いまだ十分に理解されていない、食品成分による腸管バリア制御機構を明らかにする一環として、野菜や果実に多く含まれるポリフェノール類の役割を探索した。

発表者： Yunika Mayangsari(生物圏科学研究科 生物機能開発学専攻)

日時： 2019年1月29日(火)14:35-15:35

場所： 生物生産学部 C316講義室

※本発表会は、生物圏科学研究科の共同セミナーとして認められます

連絡先： 鈴木 卓弥(内線7984) takuya@hiroshima-u.ac.jp